

学習や生活に関する改善プラン

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です。

本校は、全国学力・学習状況調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。
なお、さらに詳細な結果について、調査対象の学年に配付することとしています。

【全国学力・学習状況調査結果の概要】

成果

令和3年度実施の全国学力・学習状況調査（以下「全国学調」）の数学では、「関数」と「資料の活用」において、全国平均を上回る正答率でした。本校では研究テーマである「一人一人を大切に、わかる授業をめざして ～授業規律・生徒支援を大切に～」のもと、「授業の中での仲間づくり」や「授業規律の徹底」「個々の生徒の支援」を意識した授業に取り組んできました。それらの学習活動を通して培った力が結果に表れてきたものだと思います。

質問紙調査の結果から、「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」の質問では、「している」と回答した生徒は 49.7%と、令和2年度の調査と比較し、2.2 ポイント上昇しました。これは、学習の手引きを作成し、家庭学習の目的や意図を生徒や保護者へ説明する取組が、結果に反映されたものと思われまます。

課題と対応

数学では、「数学的な結果を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明すること」や「ある条件の下で、いつでも成り立つ図形の性質を見いだし、それを数学的に表現すること」に課題が見られました。そこで、日々の授業の中で、生徒自らが説明や表現をする場面を増やして、自分の考えを伝えることに慣れさせていきたいと考えます。

国語では「書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書くこと」や「登場人物の言動の意味を考え内容を理解すること」に課題が見られました。授業や朝読書の時間を利用し、文章を読み慣れたり、文学作品に親しんだりし、学習内容の復習と定着を図っていききたいと考えます。

質問紙調査では「朝食を毎日食べていますか」という質問に対し、「あまり食べていない」「全く食べない」と回答した生徒が 10.3%見られ、全国平均よりも高いことが分かりました。学級活動等の時間を使い規則正しい生活習慣の確立を目指すとともに、生徒会を中心に作成した「朝食アンケート」や「体に良い食べ物」（紙芝居）などの活動を通して、生活状況の改善につながるような啓発を考えています。

【保護者・学区の方へのお願い】

全国学調の結果や本校の生活アンケートでも、年々家庭学習の時間が長くなり、家庭での学習習慣が身に付いてきていることが分かります。また、テレビやビデオ・DVD等の視聴や、テレビゲーム（コンピューター・携帯・スマートフォンも含む）等をする時間も短く、メディアとのよい距離感をもち生活できています。しかし、朝食を食べない生徒や、起床・就寝時間が決まっていない生徒も見られます。より良い生活習慣を身に付けることは、生徒の更なる成長や自立につながると考えています。生徒のより良い生活習慣の確立のための活動を学校と家庭とで連携し進められるように、一層のご協力をお願いいたします。

令和3年度学習や生活に関する改善プラン（岡山市学力アセス）

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です

本校は、岡山市学力アセスの調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

【岡山市学力アセスの調査結果から】

成果

	教科・質問紙	成果
第1学年	国語	漢字の読み書きについてよく理解をしている。また説明文の読み取りの理解も進んでいる。
	社会	日本の位置と領土についての知識をよく理解している。
	数学	円柱や四角柱など立体の展開図について、よく理解している。
	理科	肺や心臓のはたらき・大地の堆積作用についてよく理解している。
	英語	単語の意味理解、質問に答える力、場面に応じた発話力が付いている。
	学習状況	家で、自分で計画を立てて勉強しているという項目でプラス評価で答えた生徒の割合は63.4%であった。
第2学年	国語	自分の意見が相手に分かりやすく伝わるように、具体的に書き表すことができる。
	社会	北アメリカについての知識をよく理解している。
	数学	一元一次方程式を解くことができる。また、展開図の重なる点について、よく理解している。
	理科	生物の分野についての知識をよく理解している。
	英語	英文を聞いての絵の並び替え、さまざまな英文の読み取り、語形・語法をよく理解している。
	学習状況	読書に親しみ、6割ほどの生徒は家庭で計画的に学習に取り組んでいる。

課題とその対応

	教科・質問紙	課題	対応
第1学年	国語	文法・語句に関する知識についての問題に課題がある。	教科指導については、各教科で課題のある領域に焦点を絞って、授業を工夫する。国語では、文法や語句についての基礎を確立するために、改めて基礎知識を確認し、繰り返し問題の演習を行う。数学では、各単元で「公約数」や「速さ」を扱う問題が出たときに復習して、理解できるようにしていく。社会では、基礎的な知識の定着を図るために繰り返し学習をする機会を設ける。英語では、音とつづり字を一致させるよう、音読と書く練習を繰り返して、基本的な語彙や英文の理解につなげる。理科では、基本的な知識や言語は理解しているが、そのはたらきを科学的に考えることが課題であるので、その演習を行う。
	社会	基礎的な知識の定着に課題がある。	
	数学	公約数についての理解や、速さを求めることなどに課題がある。	
	理科	基本的な知識をもとにして科学的に考えることが課題である。	
	英語	アルファベットの読み、基本的な英文の理解に課題がある。	
	学習状況	平日、ゲームやインターネットを1時間以上使用すると答えた生徒の割合(73.1%)が、1時間以上勉強すると答えた生徒の割合(61.6%)よりも11.5%高くなっている。	
第2学年	国語	書き言葉や表現技法について理解することに課題がある。	全教科とも、基礎基本は定着しているが、各教科の領域によっては、個々に課題も見られるので、視点を絞って授業の中で工夫していきたい。国語では、文章課題を増やすことにより書き言葉に慣れさせる。また表現技法に気付くことのできる場面を授業に取り入れる。数学では、関数の授業で反比例の性質やグラフの書きかたを復習し、表とグラフの関係を理解できるようにしていく。社会では、思考判断を問う問題で正答率が高かった。一方で知識を問う問題に課題があるので、復習をする機会をつくり知識の定着を図る。理科では全ての分野で正答率が高かったが、力の分野は苦手な生徒が多かったため、苦手分野を中心に復習を行う。
	社会	知識の定着に課題がある。	
	数学	反比例の表とグラフの関係の理解に課題がある。	
	理科	顕微鏡の使用と力の分野の理解に課題がある。	
	英語	対話を聞き取り適切に応答すること、単語の並び替えによる英作文に課題である。	
	学習状況	家で1時間以上学習している生徒は、平日約51%である。一方で、平日電子機器を使ってネットやゲームを2時間以上する生徒の割合は、約57%である。	

【保護者・学区の方へのお願い】

- ①「K'sシート」を含めた家庭学習のあり方や電子機器等との関わり方について家庭で考えていただきたい。
- ②学区で取り組んでいる「メディアコントロール週間」の活用を日常的に広げていただきたい。
- ③岡山市地域と学校協働活動推進事業を上手く活用し、地域人材を活かした勉強会など、学校行事に継続的に関わっていただきたい。